

障害者の心理社会的問題への質的

研究の現状と課題：成熟期を迎えて

2007年2月9日(金) 14:00～17:00

「奈良女子大学」生活環境学部

中会議室(F棟 2階)

平成18年度 文部科学省

「魅力ある大学院教育イニシアティブ支援プロジェクト」

大学院生の自主企画による研究セミナー

大阪府立大学
社会福祉学部

田垣正晋先生

奈良女子大学
文学部

栗岡

幹英

先生

先生

先生

質的研究への視座

ライフストーリー/ライフヒストリー研究を

中心とした質的研究法について、

具体的事例をもとに、心理学的視点、

社会学的視点からのアプローチの方法を学ぶ

公開セミナー

同じ質的研究法を用いて研究をされている先生方が、心理学、社会学という異なる視点から、ある社会の現象に対して、どのように解釈・考察をされるのか、そこに、いかなる共通点や差異を見出すのか、ということを議論する中で、学際的な融合を目指したいと思っています。

事前に講師の先行研究を配布いたしますので、セミナーまでにお読みになっていただけますと幸いです。今年度9月に奈良女子大学で開催予定の「質的心理学会」をひかえ、当該学会でご活躍の田垣先生と、この大会でのシンポジウムについてコーディネーターをされる予定の栗岡先生から、心理学・社会学それぞれの立場で質的研究の方法論に関する話題提供をしていただける貴重な機会となるでしょう。

みなさま、ふるってご参加ください。

お気軽にご参加下さい

HIV薬害当事者の聞き取り

調査における分析課題

【お問い合わせ連絡先】

社会生活環境 D1 山本智子

yytynysy@aqua.ocn.ne.jp

参加申し込みは

不要ですので、